

発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内  
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3193 Eメール nie@shinanoji.net

## 社会を捉える力 新聞で

### 長野で第17回県NIEセミナー

### 信大・小山茂喜教授が講演

県新聞活用教育(NIE)推進協議会は11月18日、第17回県NIEセミナーを長野市の信濃毎日新聞社で開きました。NIEに長年取り組んでいる信州大学教職支援センターの小山茂喜教授が「NIEで実社会との接点を探る学びを—教育における生成AIとのつきあい方—」をテーマに講演し、教員ら20人が聴きました。

小山教授は、県内 野市教育委員会の指導主事などを経て、

2007年に信州大学に赴任されまし

た。学内での講義や各地での講演を通して、新聞を学習に活用する手法や利点を広めています。この日の講演で小山教授は18歳選挙権が導入され政治参加が早まる中、子ども

たちには社会や生活での課題を俯瞰(ふかん)して捉える力が必要と強調しました。その手段として「新聞の活用が有効」とし、生成AI(人工知能)については「使える部分はありますが、それ(導かれた情報)が正しいかどうか判断するのが教員の役目」と指摘しました。講演後には「現代的な諸課題を紙面から見つけ出して、学習展開を考えよう」

をテーマに、ワークショップも実施しました。参加者は3グループに分かれて、複数の新聞紙面の見出しを見比べたり、違いや感じたことを話し合ったりしました。

小山教授は「新聞社は社会の課題意識を提供している。見出しを全て見て、社会の在り方に気づき、何ができるのか考えてほしい」と呼び掛けました。

講演する信大の小山茂喜教授

## 24、25年度指定校を募集

### 21日まで 小中高計6校

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会(会長 松本康・信州大教育学部教授)は12月21日まで、県内の小中学校・高校を対象に2024年度から2年間のNIE研究指定校を募集していま

す。指定校には同協議会加盟の新聞社8社の新聞を一定期間無料で提供。新聞の活用で、教室での学びを実社会と結びつけたり、学習指導要領が求める「思考力、判断力、表現力」の育成に役立て

たりすることができす。今回募集するのは小学校2校と中学校3校、東北信の高校1校の計6校です。NIEを研究する教員が2人以下の学校には、同協議会加盟社の新聞各1部を各

年度に2カ月分ずつ提供。3人以上の場合は同4カ月分ずつとなります。指定校は各年度1回の公開授業を開くほか、実践報告をしていただいています。23年度の指定校は全国で580校余。申し込み、問い合わせは平日に同協議会事務局(電話026・236・3480)へ。